



松庵小学校学校支援本部

あん子応援団通信

机上の学習にとどまらない豊かな体験型の「学び合う」授業が特徴だった松庵小ですが、できなかったことがたくさんありました。

保護者のみなさんに授業に関わったり見ていただいたりする機会が殆どなかったことも残念です。けれど、工夫してできたこと、新たな発見があったこともありました。

工夫の仕方を学んだ私たちは、学校とともに新しい形を模索していきたいと思えます。



入学式のお世話で出会った
あん子事務局メンバー。
分散登校から給食当番に慣れるまでの間
給食補助を行いました。

「町たんけん」
10月、11月の2回にわたり地域のお店や施設を訪問。
しっかり調べ、質問をたくさんした2年生を
保護者や地域のボランティアが付き添いました。
まとめをポスターにしてお店にお渡ししました。
素敵な発見があったようです。

1年生

2年生



あん子応援団
こんな授業を
サポートしました

「地域安全マップ作り」
12月のスタートと3月のまとめで
地域安全マップ協会副理事長
中尾清香先生に
来ていただき、
危機管理能力を
高める授業を
行いました。
他には・・・
自転車講習会、ヤギ博士になるう

3年生

絵本作家スギヤマカナヨさんの
ワークショップ「自分の中の
宇宙人を探せ」は、自分を見つめ、
言葉や絵にして
表出することで、
お互いを認め合う
授業です。
数少なくなってしまった、体験型
授業にわくわくしながら真剣に
取り組みました。他には・・・
山羊のお世話をスタートしよう

4年生

5年生

6年生

「誰もが暮らしやすい町作り」
福祉を5年生総合の基本としている松庵小
ならではの授業です。車椅子を連ねて西荻駅まで
往復したり、外部講師によるお話や
ワークショップを行いました。やり方を工夫する
ことで、質の高い授業を可能にしました。

たくさんの体験授業ができなくなった中で、
キャリア教育は、18人の講師のみなさんに
現場感あふれる動画でご参加いただきました。

詳しい様子はブログをご覧ください

あん子応援団



こんなボランティア活動で 学校生活を支えました。

朝遊びボランティア

11月下旬からスタート。参加児童は毎回
35人前後。遊ぶ前に子供たちに検温し、密
にならないよう注意しながら見守り。こ
の状況下だからこそ朝の清々しい時間に
広い空の下で元気に遊ぶ事は貴重です。



さんすうおたすけ隊

不特定多数の大人の手がのぞめない状
況の中、休校明けの不安定な子供たちの
学びと生活を感染症対策をとりながら、
固定6名のサポーターが支えました。



花と緑のボランティア

児童との接触や密になることを避け、月一
回週末に花壇の手入れ、花々の植え付けを
行うことが出来ました。気持ちの良い環境
は子供たちの居場所を穏やかにします。



食育ボランティア装飾部

給食委員の児童が毎日セットする栄養ボ
ードが劣化していたため、クリーニングと修
理、マグネットパーツの作成を行いました。



門番レンジャー

感染症対策をとりながら、学校警備員が
地域パトロールで不在の時間帯に、正門
で立ち番や来校者への声掛けをしました。
学校業務の強力サポートとなっています。

どのボランティアも社会状況の変化に応じて、
学校と相談しながら活動を見直しながら進めてきました。

いきもの係りボランティア

10月に里帰りしていた農工大から山羊が
帰校。お世話が十分できない子供たちに
かわり、土日や夏休みに加え平日も活動
することに。保護者・地域の方・卒業生も
加わりヤギたちが過ごしやすい環境を心
掛けています。

図書ボランティア

学校司書の先生のもと1回の活動を2人
1組とし、図書室の本の消毒、本棚の整理
整頓を行いました。来年度は蔵書点検を
行う方向で話を進めています。

松庵FUN FANクラブ

今年度学校の依頼で発足。中高学年の下
校時の放課後遊びを見守っています。安
心・安全を第一に先生・保護者・地域が連
携して活動。子供たちの生活の中でこの
短い時間がどんなに大切か、表情をみる
とわかります。

ベルマークボランティア

子供たちが楽しみにしている一緒にの作業
はできませんでしたが、2学期から学校備
品購入のため活動を再開。校内のボック
スがリニューアルしたので、来校の際はぜ
ひご覧ください。

【読み聞かせ】【夏まつり】【わくサタ】
【わいわいキャンプ(SYC)】は中止



ブログも見てね

松庵小学校学校支援本部 あん子応援団

あん子応援団ブログ
でも活動の様子を
随時更新しています。
ぜひご覧ください!



<http://anko-ouendan.sblo.jp/>



見えていなかった事実が真実となり、
私たちが苦しめたとしても、
見えていた真実を傷つけ損なうことはできない。
様々な苦難の前で子供たちを守り抜くため、
心をひとつに互いを思いやることの尊さを実感した年でした。

学校・地域コーディネーター 花井香